

【コピー、転送、回覧など多くの人にお渡しください。各団体各地の活動をお知らせ下さい】



10.2in東京 戦争する国は許さない 沖縄と連帯するつどい

安保破棄中央実行委員会・同東京実行委員会と全国革新懇・東京革新懇の4団体は10月2日に文京シビック・小ホールを会場に「10.2 in 東京 戦争する国は許さない 沖縄と連帯するつどい」を開催しました。

開会あいさつした全国革新懇代表世話人の矢野裕氏は、安保破棄中央実行委員会と全国革新懇が6月に実施した石垣島・与那国島連帯ツアーでの行動の紹介もまじえ大軍拡反対と沖縄連帯を訴えました。

前泊博盛冲国大教授が講演

前泊博盛冲縄国際大学教授が「安保関連3文書と沖縄 日本の軍事大国化と戦争の危機」と題し、オンラインでの講演をおこないました。

前泊氏は会場の参加者にいくつかの質問をしながら安保3文書に基づく、沖縄など南西地域の軍備増強の危険性を告発し、だまし討ちによるミサイル部隊の配備などに憤りを語りました。

沖縄戦での県民の犠牲は20万人とされているが、2023年時点で平和の礎には24万人分の名前があり、いまだ沖縄戦での総括がなされていない中、新しい戦前の準備を始めている、と語りました。

経済安保問題では2021年の米国・中国・ASEANと日本の貿易額を具体的な数字を示すとともに、2021年には両国の貿易シェア、米国（14.1%）中国（25.3%）を示しながら「アメリカとも中国とも付き合える国にしなければならない」と指摘しました。

また、普天間基地が「世界一危険」といわれている中、嘉手納基地での航空機事故数が602件とずば抜けており、その危険性は普天間基地よりも注意する必要があると指摘。最後に、最近の普天間基地に新しい施設が続々とつくられている状況を報告して講演を終わりました。

No.23-21
2023年10月4日

安保破棄中央実行委員会

〒101-0061東京都千代田区神田三崎町2-11-13

TEL03-3264-4764 FAX03-3264-4765

石垣島・藤井さん、赤嶺衆議院議員が報告

「石垣の自然と平和を守る市民連絡会」の藤井幸子事務局長はスライドを使い今年3月に開設された陸上自衛隊石垣駐屯地の増強について報告しました。

日本共産党の赤嶺政賢衆議院議員は、国土交通大臣が玉城デニー県知事に設計変更の承認を求める「指示」への回答期限を10月4日に控え緊迫する状況の中、国会報告と沖縄の状況を報告しました。また、9月28日から日本共産党国会議員団が基地問題調査をおこない、辺野古新基地建設反対のたたかいを激励したことを報告しました。

沖縄革新懇代表世話人中山忠克弁護士は、緊迫した沖縄の状況を報告し、玉城知事を支えてたたかう決意を表明しました。

地域、団体からの報告として、日野革新懇、新日本婦人の会練馬、全日本民医連の皆さんからの発言がありました。

<安保中央・東森英男事務局長がおこなった行動提起>

- 1、来るべき総選挙で、大軍拡・大増税・憲法じゅうりんの「岸田内閣NO」の国民的審判を下すために、宣伝を強化し、さまざまなやり方で、市民の話し合いの輪を広げよう。
- 2、総がかり行動実行委員会が呼びかける「平和、いのち、くらしを破壊し、市民に負担を強いる軍拡、増税に反対する」国会請願署名を広げよう。
- 3、沖縄との連帯を強化し、当面、岸田政権が辺野古新基地建設を沖縄に押し付ける暴挙をやめさせるために、設計変更を不承認とする玉城デニー知事への支持を広げるとともに、団体・個人から岸田首相と斉藤国土交通大臣へのFAXでの緊急要請をおこなう。
- 4、11月に鹿児島で開催される日本平和大会への参加など、自分にできるやり方で、戦後史の転換を許さない歴史的なたたかひに立ちあがろう。

（つどいの動画視聴は後日、安保破棄実行委員会のホームページで案内する予定です）

